

5万分の1地質図幅の新刊

陸奥川内

MUTSUKAWAUCHI

5万分の1地質図幅
地域地質研究報告

著者 上村不二雄 (地質部)

発行 工業技術院地質調査所 (1975.3)

取扱先 東京地学協会 (03) 261-0809

- この図幅地域は 東北地方のグリーンタフ地域のうち北端に近いところにあり 先第三紀の長浜層と石英閃緑岩を基盤として 新第三紀のグリーンタフと主とする

地層と火山岩類が広く分布している。いちばん分布の広い檜川層は おもに変質によって緑色化した酸性の火山砕屑岩からなっている。

- 檜川層の中には 各種の金属鉱床が胚胎しており この地域は鉱床密集地帯として知られている。この研究報告は 著者も参加した通商産業省と 現在の金属鉱業事業団が実施した 広域調査の結果がとり入れられており ボーリングや重力調査の結果は地質構造解析に また鉱床は胚胎層準別に分けて記載されるなど 各所にその成果が反映されている。

- なお この地域では1971年以降金属鉱業事業団によって精密調査(ボーリング・物理探査)が実施された。その結果についてはふれられていないが この地質図幅の利用者は 広域および精密の両報告を併用して参照することが望ましい。

とくに精密調査のボーリング柱状図や地質断面図をこの地質図幅に重ねると 一致しないところもあるがグリーンタフ地域の火山岩類に富む地層に特有の 層厚の変化や構造の複雑さがよく読みとれる。

